火星近況

六月中は非常にシーイングが惡い。月末には視直徑も増大してほゞ最遠の衝ほどの視直徑になつたので空氣の惡いものにかゝわらず可なり見えた。極冠は非常に鮮明であり相當著しい不規則な形を示した。惡天候の爲にソリス湖中心の觀測が出來なかつたが殆んど認め得ざる程かすかであつたのは事實の樣である。十五日早朝會員小林常人君も觀望せられたがよほど目が惡くなければ見落さぬさ考へられるほどケルベルス運河が太く不規則な鮮明なものに見えた。二十八日には自分の豫期せなかつた北極近いアシダリウム海を鮮明に認める事が出來た。六吋半反射鏡をいよいよ七月中旬より使用出來るはず。七吋屈折さの比較は興味が多かろう。

木星

南天低い爲空氣惡く殊に英國に於ては觀測困難である樣であるが日本には可なり見える。小望遠鏡に於て昨年さ變つた事は可なり認められる。最も著しい變化は北溫帶が明らかに分れた事であり北には今著しいのが三帶になつて居る。大赤點の所は昨年より淡くなつて南溫帶では赤道白帶に面した所に著しい變化が起りつゝある又南南溫帶が少し太くなつて三吋でよく見える樣になつて來た。

○岡山支部六月通信

一、天文講話會　十日は時の記念日に相當するので、水野幹事は岡山市立商業學校で、左の講話をした。

　地球の運動

二、天界研究會　十四日宮原幹事宅で開催、關西中學校同窓會員の爲めに、三吋望遠鏡で月、木星等を觀望した。

三、天文學講習會　岡山市三勳小學校で、二十六、七の兩日午後一時から講話會が開催せられ、水野幹事は左の講話をした。

　國語讀本にある天文學教材について

○松本支部通信

五月二十五日より一週間金星の觀望を一般人にさせました。毎夜二百人以上來會。六月六日夜天體觀望（月、木星）さ通俗講演會を催す豫定でしたが、連夜曇天の爲め延期毎日午前十時迄一般人に太陽黑點を見せてゐます、近頃黑點は澤山

六月十日記　幹事　松本支部　上保清人

編輯室より

▽御約束の如く本號を火星の爲めに献げる事を得て喜ぶ者です、然しピヶリングの報告廿七號を照會する事が出來得ずして遺憾に思ふ。それは他の號に讓りませう。

▽一般會員諸氏の火星觀測の報告を募る。

▽天界の毎月號が十日前後に迄遲れて申譯けがありません、印刷所さ協議の結果多分九月號から正規に出し得ませう。

事務室より

▽七月號には振替用紙も入れず、前金切をも書き得ませんでした。御許し下さい。何卒今後は成る可く用紙の節約をしたいさ思ひますから重ねて連續的には封入しません。

廣告

森下氏委託の望遠鏡は賣却濟の由

例會

八月二十四日（水）夜火星觀測會を京大天文臺に開催す。一般會員の來會を歡迎す。

天文同好會

本部　京都帝國大學　天文臺
同志社支部　京都市　同志社大學
京都小學教員支部　第一朱雀小學校　內山新
中京支部　京都市錦小路油小路東　青地喜代藏
西陣支部　京都市七本松五辻下ル　河村篤之助
三高支部　京都市第三高等學校　西堀榮三郎
大阪支部　大阪市東區安土町三丁目　船場小學校
神戶支部　神戶市生田町四丁目　森下助次郎
甲南支部　兵庫縣尼崎市高等女學校　木村孝造
岡山支部　岡山市門田二十一　水野千里
美作支部　岡山縣苫田郡津山町大字上ノ町　山本孝二郎
名古屋支部　名古屋市東區東芳野町五九　濱野眞
上田支部　長野縣上田高等女學校　中澤登
長野支部　長野市長野小學校本部
高水支部　長野縣下高井郡瑞穗小學校　黑岩魁一郎
松本支部　長野縣松本市築摩部
諏訪支部　長野縣上諏訪中學校
廣島支部　廣島市研屋町五一
九州支部　福岡縣大牟田市龜甲町
山口支部　山口高等學校化學教室
仙臺支部　仙臺第二高等學校

宮川周治　上條清人　三澤勝衛　熊野德一　古賀和吉　野垣寬之　吉井正敏

大正十三年七月廿四日印刷
大正十三年七月廿五日發行（定價三十五錢　郵税金五厘）
聖護院局私書函第十一號（京都帝國大學天文臺內）
（天界第四十三號）
編輯兼發行者　天文同好會
振替貯金大阪五六七六五番
右代表者　山本一清
發行所　京都帝國大學天文臺內　天文同好會
印刷所　京都市下京區西洞院七條南入　內外出版株式會社印刷部
賣捌所　警醒社　東京京橋銀座尾張町　丸善株式會社　東京・京都・大阪・福岡・仙臺